

2018 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [兵庫県立芦屋国際中等教育学校] 担当教諭名 [植山 早紀・常 摩耶] (3年A組 40名)

相手国・地域 [インドネシア]

海外学校名 [Amalina Islamic Junior High School] 担当教諭名 [Nia Mariana Syahrani]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	学活	多文化共生	13
	探求	多文化共生	13

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	BOND
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	日本とインドネシアという離れた場所でも、どこまでもつながっている自然からつながりを感じることはできる。そんなつながりを大切にしたいという思いと、それぞれの国の文化を理解しあい、尊重しあうことが大切だということをメッセージに込めた。



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> ・スカイプでの交流は相手を意識する良い機会になった。また、相手が日本のことや自分たちと共通の話題で会話ができることに感動し、更に異文化交流に興味を持った生徒が多かった。 ・ビデオや PPT などのプレゼンを用意する際、相手のことを意識することができた生徒が多かった。 ・うまくいかないことが多かった中で、相手校から返ってきた絵を見て、相手の良いところを感じ取ることができ、また、これまで知らなかったことも多く知ることができた。作品の完成を通してしっかりと「つながった」と実感した生徒も多かった。 ・絵にメッセージを込めて表現することの楽しさや素晴らしさを学んだ生徒が多かった。 ・文化や言語が違っても、絵や何かの作品作りでは1つになれることを体験することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1年を通して計画的に進めていく日程を考え直し、何も取り組みがない期間がないようにしなければならなかったと感じた。 ・文化紹介の部分と、cultural diversity というテーマ学習で取り上げる内容に、重なる部分があり、教師側でうまく精査して生徒に投げかけていかないと、生徒たちが掘り下げて考える機会をのがすと感じた。 ・生徒に forum をどのように有効活用させるかが課題です。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<ul style="list-style-type: none"> ・交流を楽しもうという気持ちをもって始めたが、スタート段階ではこちらからの発信になかなか返信がなく不満を持つこともあったが、実際にスカイプ等の交流を行うと活き活きとした様子で取り組んでいた。また、作品を共同制作するという経験を通して、何かを一緒に作り上げることの楽しさを学び、完成した作品に感動し、表現することの素晴らしさを実感していた様子である。 ・同年代の海外の生徒との交流がとても新鮮で、今後更に様々な世界の人たちと関わりたいと希望する生徒が増えた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教員同士のやり取りの中で、うまく話を進めることができず、改めて、異なる国・文化を理解することは、自らそう努めなければ、うまくいかないのだと自覚するに至った。 ・相手国に対して、理解できた部分と、まだまだ、理解できていない部分があり、かえって興味がわいた。 ・生徒の積極的な働きかけや取り組みを見て、異文化交流への携わり方や、今後の生徒の学習方法へと活かせる取り組み方を改めて意識させられた。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	7月 ～ 9月	自己紹介カードを作り、相手校へ郵送し、学校や日本文化について、ビデオやPPTにまとめた。	相手の人たちが見えない分、相手を想像して自己紹介カードやプレゼンを考えることができる生徒とできない生徒に分かれた。生徒間での意識の差が最初は見られた。	学活3 探求3
共有 テーマ学習	10月	テーマからお互いの文化を紹介することになり年間の Traditional event、祭り、自然、文化など班ごとにプレゼンを用意した。	日本の伝統文化を知らない生徒も多く、調べる中で改めて理解したこともあった。PPT やビデオなどの製作は難しいところもあったが、良く協力していた。	学活3 探求3
融合 想いを形に ・メッセージ ・壁画デザイン	11月	学んだことから、発信したいメッセージを下絵にし、お互いの意見を聞き、クラスみんなで決定し、相手校へ相談した。	学んだことから、世界へのメッセージを考えるのに、言葉から入る生徒と、絵や物から入る生徒がおり、それぞれが補い合いながら、より良い案を出した。	学活3 探求3
創造 壁画制作	11月 12月	下書きと色塗り。全員で分担を決めて、取り掛かった。また、相手に送る日本伝統のおもちゃや日本の遊びの説明をビデオで撮影した。	皆で取り組むことを大切にしました。出来上がっていくにつれ、早く完成した絵が見たいと感じるようになった。見る相手を意識した遊びの紹介ビデオは楽しんで撮影ができた。相手を身近に感じられているような様子であった。	学活3 探求3
評価 振り返り 自己評価	3月	写真やメッセージのやり取り。壁画を鑑賞し、この活動を通して得たことを振り返った。	お互いのメッセージを、うまく取り入れた壁画になっていた。相手の画力に感動していた。完成した作品から表現することの素晴らしさを実感した様子であった。	学活1 探求1

■アートマイルでついた力について教えてください。

(5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった)

学習目標・つきたい力	評価	先生が手応えを感じた場面・理由
自文化を理解する力	4	自国の文化について、生徒が知らなかったことが予想以上にあったが、プレゼンをするうえで調べ身に着けていく様子が見られた。
異文化を理解する力	4	知らないことがたくさんあると感じることもあったが、相手からのメッセージにより、より一層ができた。
情報活用能力 (収集・まとめ・発信)	4	相手のことを考えた、工夫をする様子が多く見られた。
コミュニケーション力 (双方向・共感・英語)	4	分かりやすいムービーやPPTを発信できた。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	4	客観的に話を進められない生徒が見られたが、それに対し、同調することなく、落ち着いてテーマ学習を進めた。
主体的に考え行動する力	3	活動において、各自が知恵を出し合い、考えようとしたが、少し浅い部分も見られた。
他者と協働する力 (学級内・海外の相手)	4	他者と協働することができない生徒もいる中、前向きに協力しようとする姿が見られた。
想いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	4	考えて下絵の案を出し、その下絵に込められたメッセージを生徒が話すのを聞き、各自が考えていると感じられた。
評価する力 (作品の鑑賞・学習の自己評価)	3	完成した壁画を見て、相手校の取り組みを改めて評価することができた生徒が多く見られた。